

公益社団法人
日本キャンプ協会
National Camping Association of Japan



静岡県立朝霧野外活動センター

日本キャンプ協会は
**安全で教育的な効果のあるキャンプの普及・振興と
質の高いキャンプ指導者の養成**に取り組んでいます

日本キャンプ協会は全国の青少年関連団体や野外活動研究者、教育者等によって1966年に創設された団体です。
「野外活動としてのキャンプの普及と振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する」ことを目的に活動しています。
全国47都道府県に所在するキャンプ協会のほか、教育機関、野外教育団体、アウトドアメーカー等と共に、
安全・安心で楽しく効果的なキャンプを普及・振興しています。
また、こうしたキャンプを提供できる質の高い指導者の養成に取り組み、
これまでに延べ15万人を超えるキャンプ指導者を輩出してきました（2023年1月現在）。

団体概要

団体名	公益社団法人日本キャンプ協会
英語名	National Camping Association of Japan
所在地	〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内 TEL：03-3469-0217 FAX：03-3469-0504 HP： https://camping.or.jp
設立	協会創立：1966年4月16日 社団法人認可：1990年12月20日 公益認定：2012年4月1日
会員数	個人会員約9,700人・団体会員約220団体（2023年1月現在）
目的	野外活動としてのキャンプの普及と振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する
事業	(1) キャンプの普及と振興に関する啓発活動 (2) キャンプの普及と振興に関する指導者の養成 (3) キャンプの普及と振興に関する研修会、講習会、セミナー等の開催 (4) その他本会の目的を達成するために必要な諸事業



NCAJ
National Camping Association of Japan





キャンプで“生きる力”が育まれる

キャンプで 教育的な 効果

Camping provides many essential lessons to be learned through real-life experience.

自然の中で非日常を体験するキャンプは、日々の生活では得られない学びや感動、刺激が詰まっています。リフレッシュ効果や癒しがあるだけでなく、日常とは異なるさまざまな場面で挑戦や達成感、忍耐などを体験します。

キャンプの参加者たちはこうした体験を共にすることで、コミュニケーション能力や課題解決能力、自然に対する理解などが向上していきます。

このほか、幼少期にキャンプを体験することで、課題解決能力や他者との協調性、思いやり、たくましさなど「生きる力」が育まれることも知られています。※

※データ等は日本キャンプ協会「キャンプ研究」や独立行政法人国立青少年教育振興機構の各種調査研究結果をご覧ください。

日本キャンプ協会が取り組む 3つの公益目的事業



事業1

キャンプの活動を
発展させ
広めていく



日本キャンプ協会では、すべての人々を対象とした、あらゆるタイプのキャンプを広く社会に普及・振興していきたいと考えています。

キャンプの魅力をより多くの人に体感してもらうため、時代に応じた新しいキャンプに取り組み、伝える活動に励んでいます。

事例：会報誌『CAMPING』、Webサイト等での情報発信／都道府県キャンプ協会との協働事業／静岡県立朝霧野外活動センター運営／キャンプインフォメーションセンターでの相談対応／安全啓発キャンペーン実施／国際キャンプ連盟（ICF）等を通じた国内外のキャンプ情報収集・提供など

事業2

よりよいキャンプを
実現する
指導者養成



キャンプを安心・安全に行い、キャンプの効果を最大限に引き出すためには、専門的な知識と技術を備えたキャンプ指導者の存在は欠かせません。

日本キャンプ協会では、野外活動の研究者や教育者たちの知識と経験を基にカリキュラムを作成し、実践的なスキルと専門的な教養を持つキャンプ指導者を養成しています。

事例：都道府県キャンプ協会や野外教育団体、学校、大学を通じたキャンプ指導者（キャンプインストラクター・キャンプディレクター）の養成／テキスト『キャンプ指導者入門』『キャンプディレクター必携』発行など

事業3

キャンプの質の
向上につながる
研修および調査研究



およそ100年にわたる日本のキャンプの歴史のなかで、キャンプはいつの時代も人々に良質な体験を提供し、時々社会課題に向き合ってきました。

現代でも幼児キャンプやスペシャルニーズキャンプ等さまざまなキャンプが実施され、実践者や研究者たちがその効果や実践方法について調査・研究しています。日本キャンプ協会ではこうした情報の提供や交流の機会を設け、キャンプの可能性を皆さまで共に高めるよう取り組んでいます。

事例：日本キャンプミーティング実施／研究誌『キャンプ研究』発行／安全対策委員会設置など

これらの事業は中期事業計画に盛り込み、
私たちのビジョンを掲げて推進しています。

the 2nd ステージ
社会の隅々までキャンプを届けよう NCAJ
公益社団法人日本キャンプ協会 ビジョン2025

入会のご案内

membership application information

日本キャンプ協会では、会員の皆さまに向けてキャンプに関する情報提供や、
各種会員特典でキャンプ活動のサポートをしています。
指導者や愛好者の方など、どなたでも会員になることができます。

普通会员 (指導者資格保有者)

キャンプの知識・技術を身に付けた指導者資格（キャンプインストラクター／キャンプディレクター2級・1級）を保有する会員です。

普通会员 (個人)

キャンプに興味がある方などが登録しています。キャンプインストラクター養成講習会を受講せずに、日本キャンプ協会の会員になることができます。

普通会员 (団体)

本協会の目的に賛同する団体向けの会員区分です。各都道府県にあるキャンプ協会や大学、専門学校、青少年教育団体、キャンプ場、野外系NPO団体などが会員として登録しています。さらに、キャンプ指導者を養成できる課程認定団体として、日本キャンプ協会に登録することもできます。

※課程認定団体としての登録には審査があります。

賛助会員 (個人・団体)

本協会の事業を賛助する個人や団体向けの会員区分で、アウトドアメーカー、販売店、旅行会社、アウトドア情報メディアなど、主に民間企業が登録しています。会費を通じて協会の活動を支援し、キャンプの普及と振興に貢献することができます。このほか、希望に応じて日本キャンプ協会からキャンプに関する専門スキル、相談、コンサルタントなどが受けられます。



会員特典（2023年1月現在）

- ・会報誌『CAMPING』（季刊／年4回）を送付
- ・研究誌『キャンプ研究』を送付※団体会員、キャンプディレクター1級、2級保有者対象
- ・協会独自の保険（国内旅行傷害保険／レクリエーション保険）が利用可能※一部会員種別により制限あり
- ・指導者資格保有者に指導者賠償責任保険を自動付帯
- ・会員交流SNS（facebookグループ）が利用可能
- ・ユース Hostel 団体パスの発行が無料
- ・会報誌『CAMPING』（季刊／年4回）へのチラシ同封・広告掲載（団体会員のみ利用可）が会員価格
- ・都道府県キャンプ協会や日本キャンプ協会が主催するキャンプ、イベント、セミナーを紹介

など



会員種別	入会金等（初年度）	年会費・資格更新料（毎年度）
普通会员 (指導者資格保有者) ^{※1}	15,300円 ^{※2}	キャンプインストラクター 6,100円 ^{※3}
		キャンプディレクター2級 7,200円 ^{※3}
		キャンプディレクター1級 8,300円 ^{※3}
普通会员 (個人)	8,000円 ^{※4}	3,000円
普通会员 (団体)	20,000円 ^{※5}	10,000円
賛助会員	40,000円 ^{※6}	30,000円（1口）

※1 指導者資格を取得する場合は、別途キャンプインストラクター養成講習会を受講し、合格する必要があります。

※2 内訳：受験料1,100円、公認料1,100円、登録料1,100円、入会金5,000円、事務手数料2,000円、初年度会費5,000円（日本キャンプ協会3,000円、都道府県キャンプ協会2,000円）。

※3 内訳：日本キャンプ協会年会費3,000円、都道府県キャンプ協会年会費2,000円（大阪府キャンプ協会に所属される場合は3,000円）

＋更新料（キャンプインストラクター1,100円、キャンプディレクター2級2,200円、キャンプディレクター1級3,300円）。

※4 内訳：入会金5,000円＋初年度会費3,000円。任意で都道府県キャンプ協会にご所属いただけます。

その際は、都道府県キャンプ協会の年会費2,000円（大阪府は3,000円）を含めた、合計10,000円（大阪府は11,000円）をご入金ください。

※5 内訳：入会金10,000円、初年度会費10,000円。

※6 内訳：入会金10,000円、初年度会費1口30,000円。

入会のお申し込みはこちら



キャンプの指導者資格とは

キャンプの知識＋コミュニケーション力と組織運営スキル

養成講習会で 学べる・身に付く

- 「キャンプの知識・技術」
- ・ 道具やギアの使用法
 - ・ 自然環境への配慮
 - ・ 安全管理
 - ・ 人々の成長を促す
コミュニケーション方法
 - ・ アクティビティ
 - ・ キャンプ運営のノウハウ
etc.

ほかに！

「社会人基礎力」である

- ・ 前に踏み出す力
- ・ 考え抜く力
- ・ チームで働く力
- ・ 問題解決能力

など指導者として
必要な資質が身に付く
ことも特徴です。

※資格取得には試験への合格、
日本キャンプ協会への登録が必要
です。

※「キャンプインストラクター」
「キャンプディレクター」「日本
キャンプ協会」は公益社団法人日
本キャンプ協会の商標登録です。

資格を取得するには

全国の都道府県キャンプ協会や野外教育団体等で行われているキャンプインストラクター養成講習会を受講してください。受講後に実施される試験に合格し、日本キャンプ協会に登録すると、キャンプインストラクターの資格が取得できます。

このほか、全国の大学や専門学校でキャンプインストラクターの資格が取得できるカリキュラムが在学向けに組まれています。

キャンプインストラクターの資格取得後、アウトドア活動や組織キャンプの指導経験を積むと、キャンプディレクターの養成講習会が受講できます。

資格の種類

キャンプインストラクター（CI）

キャンプの基本的技術（テント設営・道具使用法等）や安全な実施法、キャンプで得られる効果などを学びます。

この資格を取得すると、キャンパー個人やグループに対して、キャンプのプログラム等の指導ができる指導者として活動できます。

キャンプディレクター2級（D2）

キャンプの総括責任者であるキャンプディレクターのもとで、マネジメントディレクター（スタッフ・参加者・備品・設備の管理、渉外等）やプログラムディレクター（プログラム企画・運営・指導等）としての役割を担うキルがあると認められた資格です。講習会ではプログラムの企画やマネジメント、指導法などを学びます。

キャンプディレクター1級（D1）

スタッフの指導や養成、組織運営を担う技術があると認められた資格です。キャンプインストラクター、キャンプディレクター2級の養成が可能[※]になります。講習会では、キャンプ事業の運営方法やスタッフの養成、安全管理、法的責任などを学びます。

キャンプに対する豊富な経験・知識・技術が求められるだけでなく、尊敬される人間性や倫理観、優れたリーダーシップが要求されます。さらに、キャンプの楽しさや効果を地域社会に広めることも重要な役割の一つです。

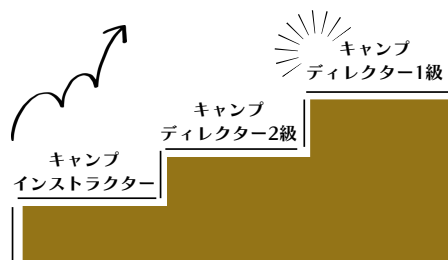
※日本キャンプ協会が指導者の養成を承認している課程認定団体に登録する必要があります。

キャンプインストラクター
養成講習会を受講

試験を受験

合格
日本キャンプ協会に登録
※同時に都道府県キャンプ協会への
登録が必要です

認定
会員証が後日発送されます



キャンプインストラクター 養成講習会

キャンプディレクター2級 養成講習会

キャンプディレクター1級 養成講習会

キャンプディレクター1級 検定会

会場	全国の都道府県キャンプ協会や 野外教育団体など	全国の都道府県キャンプ協会や 野外教育団体など	東会場（東京）or 西会場（大阪） オンライン会場	東会場（東京）or 西会場（大阪） オンライン会場
日程	1泊2日+日帰り1日、2泊3日、 日帰り3日間、 オンラインなど	1泊2日+日帰り1日、2泊3日、 日帰り3日間、 オンライン+1泊2日など	集合講習2泊3日 オンライン講習3日間	集合検定2日間（日帰り） オンライン検定2日間
受講料	15,000円程度 資格取得には受験料・年会費等 （15,300円）が別途かかります。	25,000円程度 資格取得には受験料等（11,000円）が 別途かかります。	40,000円程度	20,000円程度 資格取得には公認料等（8,800円）が 別途かかります。
受講要件	・ 満18歳以上であること ※認定日に満18歳であれば 18歳以下でも受講可能	・ CI資格を保有していること ・ CI資格取得後、アウトドア参加経験 が2回以上と1泊以上の組織キャンプ 指導経験が1回以上あること	・ D2級資格を保有していること ・ D2級資格取得後、1泊以上の キャンプ指導経験が2回以上あること ※資格取得には別途、検定会に合格する必要があります	・ D1級養成講習会修了後から 4年度以内であること

※日程、受講料は実施団体、プログラムの内容により異なります。 ※キャンプディレクターの養成講習会および検定会に参加するには、当該年度の年会費が納入済みである必要があります。

こんな方におすすめ！

- ★安全にキャンプを楽しみたい
- ★家族や友人をキャンプに連れて行きたい
- ★幼稚園・保育園・学童・学校などで子どもと関わる
- ★キャンプ場や自然体験施設で仕事をしている
- ★教育に野外活動を取り入れたい
- ★キャンプ指導経験をカタチにしたい
- ★キャンプに関連した仕事がしたい



体験活動は子どもの生きる力（豊かな人間性や自ら学び考える力など）を育むことが明らかにされており、文部科学省等でも体験活動の推進を行うなど、今、とても注目を集めています。このため、安全で効果的に体験活動を実施したい先生方やキャンパーを受け入れる野外施設の方、アウトドア教室等のガイド、インストラクター、教育や健康、スポーツ等を学ぶ若者たちに人気の資格です。

このほか、ソロやグループ・家族でキャンプを楽しみたい方や、子どもの成長に役立てたいお父さん・お母さん、観光や地域振興、ビジネス目的などの資格取得も増えています。